

令和7年
第3回
定例会



ひらない 議会だより

第225号

令和7年10月29日発行
青森県平内町議会



子ども議員10人が 子どもながらの視点で一般質問

8/5「子ども議会」

子ども議会	2～7
令和6年度決算審査	8～13
令和7年度補正予算	14～15
人事・条例・財産の取得・発議	16
採決・一般質問（6人登壇）	17～23

委員会の活動	24～25
研修報告	26
あの人この人	27
サークル紹介	28

子ども議会

平内町を担う児童・生徒たち

8月5日開催

次から次へと頼もしいアイデア！



8月5日、2年ごとに開催の「子ども議会」が開催されました。議長に平内中学校3年の遠嶋芽衣議員が選出され、小学生7人、中学生3人が学校を代表して、町へ一般質問を行いました。

開会挨拶では、町長から「皆さんの貴重な意見や要望には可能なことは直ぐに実行し、困難な要件には、今後の町行政の取組の参考にしたい」との言葉がありました。



ごみのない景観の平内町に

町長/住民と美しい景観づくりを進める

ふくだ まゆ
福田 麻由 議員 小湊小5年

福田 宮城県の松島町では、美しい自然と景観を守るために、湾内をきれいにしたり、流れ着いたごみを拾ったり、住民も美しい自然を守るために協力しているそうです。また、美しい景観を守るために景観条例という決まりをつくり、町を盛り上げるために住民と一緒に勉強会を開いてきたそうです。

平内町でも、町民に呼びかけてごみ拾いをしていますが、町民にだけでなく県内外に広く呼びかけてはどうでしょうか。ごみ拾いをイベント化して平内町の景観を守る取組をすることで、観光客も呼べるのではないのでしょうか。松島町のように町の住民と一緒に自然や景観を守るための取組を行ってはいかがでしょうか。

町長 平内町では、町内会やボランティアの皆さんによる清掃活動を町が支援し、環境美化助成



金やごみ袋の提供、回収ごみの無料受入れを行っています。

平成30年度からは小学生による環境ポスターコンクールを実施し、次世代を担う子どもたちの発信を通じて地域全体の環境意識向上につなげています。

さらに、平成25年度からは国や県の補助金を活用し、漁業者を中心とした海岸清掃を継続し、例年約100トンのごみを処分しています。しかし、ポイ捨てや不法投棄、町外からの漂着ごみは依然課題です。

町では「ごみを捨てない人を増やす」ことを目指し、看板やSNSを活用した啓発活動を強化するとともに、スポーツとごみ拾いを組み合わせた新しい取組も検討し、住民とともに美しい景観づくりを進めていきます。



町の人口減少をとめるための取り組みを

町長/魅力ある町づくりを目指す

いせや やちよ
伊瀬谷 八千代 議員 小湊小6年



仕事をする場所を

伊瀬谷 平内町に仕事場を増やせば、人や家族が住み、人口を増やすことにもつながるのではないかと考えます。人が集まれば意見を交わすことができ、さらに魅力ある町づくりにつながるとは思いますがいかがでしょうか。

町長 平内町では、雇用の拡大が人口減少対策に不可欠と考え、企業誘致に取り組んでいます。製造業だけでなく情報通信業や小売業など幅広い業種を対象に、支援や税制優遇を行う条例を制定し、進出しやすい環境を整備しています。また、青森市や東津軽郡の町村、商工会と連携し、地域一体となった取組を推進。若者が流出せず、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを目指します。

商店街をもっと活発にする取組を

伊瀬谷 これからの平内町には、特に若い人が興味を持てるような町づくりが必要だと思います。空いている店を貸したり、そのための資金を補助したりしてはどうでしょうか。意欲のある人たちが集まって、さらに魅力ある店ができると人が集まり、町の収入にもつながると思います。

町長 平内町では、人口減少対策の一環として商店街の活性化に取り組んでいます。小湊商工会では空き店舗率が約36%と課題を抱えるなか、令和6年度から弘前大学の学生と協働し、魅力あるまちづくりを推進しています。今年の「ひらない秋まつり」では子ども向け企画を実施予定であり、今後は空き店舗の活用や開店支援なども検討していきます。



町民バスの子ども料金を無料に

町長/「運賃無料」は難しい状況

まつの げん
松野 玄 議員 小湊小6年



松野 ぼくは、小湊小学校から少し離れた場所に住んでいます。天気の良い日は自転車で出かけることもあります。雨の日や冬は遠くに出かけることができず、家でゲームばかりしています。近くに路線バスのバス停があるのでバスに乗って出かけたいと思っています。また、中学生になると、東小学校や山口小学校出身の友達ができるので、バスの料金が無料になったら嬉しいです。中学校の部活動もクラブ化が進み、バスに乗ってクラブ活動に参加しやすいように、中学生も無料にしてはどうでしょうか。

平内町の子どもたちが、色々な場所に出かけることが増え、平内町をより好きになればいいと思います。

町長 現在、町民バスの乗車運賃は100円または200円の均一料金ですが、小学生は半額、幼児と70歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料としています。運賃を低く設定する、更には無料とすることで、友達と出かけたり、クラブ活動に参加しやすくなることは、私としても理想です。しかしながら、限られた町予算の中で「運賃無料」を実現することは、現段階では難しい状況です。今後さらに人口減少、少子高齢化の進行が見込まれる中、地域の足を守っていくことは大きな課題です。皆さまからの要望をでき得る限り反映し、今まで以上に便利で利用しやすい町民バスとなるよう努めていきます。



飲食店や観光資源の整備を

町長/賑わうテーマパークに取り組む

ちよや 千代谷 あかり 明香莉 議員 山口小5年

健康のことを考えた飲食店を

千代谷 平内町の平均寿命は男性78.6歳で全国ワースト10位、女性86.2歳で全国ワースト25位です。健康のことを考えたアサイーボウル店などを作ることによって脱短命町を目指すことができると考えます。

町長 アサイーボウル店などの飲食店は簡単に作ることができないかもしれませんが、町内にある飲食店に協力をお願いして、減塩に特化した「健康定食」などというメニューを開発してもらうのも面白いと思っています。

新たな観光資源の開発を

千代谷 町で県外や外国の方でも楽しめる観光地を整備してはいかがでしょうか。例えば、ホタテの殻むき体験や白鳥の写真撮影ができるスポットを作ることによって、観光が盛んになると考えます。



ホタテ専門レストラン「ホタテ一番」

町長 ホタテ専門レストラン「ホタテ一番」は、県内外、外国人観光客が訪れ「見て楽しむ」「食べて楽しむ」施設になっています。今後は、「体験して楽しむ」ことも充実させ、観光客で賑わうテーマパークになるように取り組んでいきます。

ネット環境の改善を

千代谷 現在、授業でタブレット型パソコンを使用しています。回線が混んでしまい、困ることがあります。小中学校のインターネット環境の改善をお願いします。

町長 以前、他の小学校で同様の事例があり、専門業者で詳しく調査した結果、外の回線の速度が遅いものによるものでした。今後は、改善を図っていきます。



町の発展と観光の活性化を目指したイベント開催を

町長/前向きに進めていきたい

わくい 涌井 みお 澤 議員 山口小6年

涌井 私たち山口小学校6年生は、「魅力あふれる平内町を目指して」とのテーマで、町自体の発展と観光の活性化を同時進行可能な企画を考えました。

高森山でのイベントを

涌井 高森山での季節の植物を観察しながらのウォーキングイベントです。標高387mと高くないので、小さな子どもから年輩の方まで楽しめると考えます。また、植林イベントなども一緒にできます。植えた木の成長を見るために、継続的に訪れる人も増やすことができるのではないかと考えました。

町長 高森山は人里から離れており、ここ数年クマ、サル、イノシシなどの野生動物の被害も発生しており、危険と隣り合わせである状況です。

そこで、夜越山森林公園を利用したイベント等を進めたいと考えています。



町内小学生の水産業体験

湾内沖での体験を

涌井 昨年度、水産業体験で船に乗って沖にでました。体験した人の中から漁業に興味を持ち、仕事として取り組んでみたいと思う人が増えると後継者不足も解決できると思います。このようなイベントを企画し、発信することで平内町に遊びに来る人も定住する人も増えていくのではないのでしょうか。

町長 水産業体験学習はホタテ養殖業を実際に体験することで、漁業の魅力を知ってもらうことが目的です。その他、平内中学校で行っている「H-1グランプリ」では、ホタテを使ったレシピを全校で考えグランプリを獲得したレシピは学校給食で提供される予定です。

これらの取組はいずれも後継者不足の解消、定住につながるものと考えています。



スポーツを楽しめるまち 平内町へ

町長/多様な運動を増進したい

はちのへ こうや
八戸 皇弥 議員 東小5年



春に行われるクロスカントリー大会

マラソンイベントの開催を

八戸 マラソンイベントの回数を増やすことについて提案します。東小学校では春と秋にマラソン記録会を行い、秋にどれだけタイムを縮められるかを目標にして楽しみながら体力づくりをしています。平内町では、春に夜越山でクロスカントリー大会が行われているので、秋にも取組を広げて欲しいです。

町長 運動にはマラソンのように走るだけでなく、ストレッチやダンス、ウォーキング、体操など、もっと身近で気軽に楽しめるものもたくさんあります。今後は、町民の皆さんの声をしっかり聞きながら、「どんな運動をしたいか」「どんな場があったら参加しやすいか」といったニーズを把握し、多様な運動の機会をつくっていききたいと思います。

海水浴場の整備を

八戸 平内町には海水浴ができる浜がありますが、ごみが多く、足をけがしやすい場所もあり、安心して遊べる環境とは言えません。さらに、クラゲが発生する季節には、海に入ることが難しくなることもあります。そこで、海水浴場の環境整備を行い、ごみの回収やクラゲネットの設置、安全面の確保などを進めて、誰もが安心して泳げるようにしてほしいです。

町長 監視員がいないところなどは、事故につながる恐れがあることから、遊泳が禁止されている場所もあります。現在、監視員が配置されている海水浴場は、東田沢にある「椿山海水浴場」1カ所だけで、今年も7月18日から8月22日まで利用できます。施設は毎朝砂浜のごみ拾いを行い環境美化に努めています。



子どもや高齢者にやさしい町に

町長/不便のないようにしていきたい

はちのへ ひらく
八戸 啓 議員 東小6年



草が生い茂る歩道

安全に歩ける歩道の整備を

八戸 私たちが住んでいる東小学校周辺には、国道が続いています。その歩道は決して狭いわけではありませんが、夏になると草が生い茂り、冬になると、除雪の雪が歩道に積もり、歩ける範囲が狭くなります。歩道を利用するのは、ほとんどが小中学生か高齢者です。1年中安全に歩ける歩道の整備を求めます。

町長 夏期の除草作業及び冬期間の除雪については、国や県などと協議を行い、適正な歩道の管理運営を要望しているところですが、町民の皆さまになるべく不便をかけることのないように実施していきたいと考えています。

遊べる空間を

八戸 平内町には、壊れた空き家や使われていない土地が見受けられます。子どもの運動能力の低下を防ぐためにも、私は安全に鬼ごっこをしたり、遊具や砂場で遊んだりできる「空間」である公園を設置するべきだと考えます。

町長 遊べる「空間」が子どもたちの健やかな成長にとって重要であることは、町としても強く認識しています。今後は、地域ごとに安全に集える場所や活動の場をつくっていく工夫が必要だと感じています。今すぐには難しいとしても、将来的な地域づくりの中で、子どもたちの居場所づくりも視野に入れ考えていきたいと思っています。



公園を安全で楽しい場所に

町長/条例制定も視野に入れ対処したい

すとう あゆみ
須藤 彩友 議員 平内中2年



町の中心地にある「ひだまり公園」

須藤 私たちの住む町の公園は、誰もが安心して遊べる大切な場所であるべきです。しかし最近、公園内でのごみの散乱、騒音や夜遅くの花火などで、治安や景観に影響が出ています。こうした状態が続くと、地域みんなが安心して公園を利用出来なくなってしまいます。

そこで提案があります。公園がみんなにとって安心で楽しい場所になるように、公園利用に際してのごみの管理や騒音防止、花火の利用に関する条例を定めてはどうでしょうか。

町長 現在、平内町には公園を管理する条例がないことが実情です。

各公園の管理については、夜越山森林公園は水産商工観光課、ひだまり公園は地域整備課という具合に各担当課及び地元町内会等が公園管理を行っているところです。

公園を利用する方にはごみを捨てる方、騒音を出す方などがあることも実情としてあるかと思いますが、これはモラルの問題です。

町は、公園を安心して利用していただくため、広報などを利用した啓発活動や注意看板の設置などを行い、利用者の意識向上を図りながら、必要に応じて公園管理条例の制定も視野に入れ、対処したいと考えています。



魅力あるイベントの開催を

町長/新たな企画を検討したい

おさない ゆめか
小山内 夢香 議員 平内中2年



大島での「ホタテ拾い」

小山内 私は平内町の活性化のために、魅力のあるイベントが必要だと考えます。そうすれば、遠方からもたくさんの方が訪れ、盛り上がるのではないかと考えました。そこで、平内町のイベントについて調べました。

平内町には、山や海などの豊かな自然があります。しかし、「夏泊ほたて海道トンネルマラソン大会」や「夜越山クロスカントリー大会」など、主に山で開催されるイベントはあるものの、海で行われるイベントはありません。

そこで提案があります。平内町を盛り上げていくために、海でも、地引き網体験、釣り大会などといった体験型のイベントを開催してはいかがでしょうか。

町長 町では海のイベントも行っています。例えば「ひらないの春まつり」では大島での「ホタテ拾い」、自転車で夏泊半島を一周するイベントとして「夏泊半島ブルーロードライド」、平内町漁業協同組合茂浦漁業研究会で幼稚園や各種団体を対象に地引き網体験も実施しています。

また、以前は「ブルーロードウォーク夏泊」「椿山クラフトキャンプ」といったイベントもありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響や運営スタッフの不足などで今は行っていません。

今後は、提案いただいたイベントも含め、見直しや新たな企画を検討したいと思います。



海岸清掃活動の仕組みづくりを

町長/一層強化していく

よこかわ ここね
横川 心音 議員 平内中2年



松風塾高校による大島の海岸清掃

横川 私は以前、平内町の海岸を訪れた際にごみがたくさん落ちている現状に驚きました。このような状況を改善するためにも、地域住民や若い世代が、協力して清掃活動に取り組むことが大切だと思います。そこで、年に2回（半年に1回程度）を目安に、各学校の代表生徒や地域のボランティアが連携し、海岸清掃活動を実施する仕組みを検討していただけないでしょうか。

そうすることで海岸がきれいになり、自然環境・海洋資源の保護にもつながると思います。

町のお考えをお聞かせ願います。

町長 海岸漂着ごみの多くは冬場の強い季節風により町外から流れ着いたもので、毎年6月に

松風塾高校が大島の海岸ごみ拾いを実施しています。

しかしながら、海岸線は足元が悪いうえ、錆びた金属類や割れたガラス類など数多く散乱し大変危険であること、また、仮に皆さまの協力を得て、送迎のため貸切バスを頼んだ場合、結構な費用がかかることもご理解願いたいと思います。

町では、美しい自然と海を次の世代に引き継いでいくために、環境保全への取組を一層強化していきます。自らの体験をもとに町のことを考え、具体的な提案をしてくださることは、私たちにとって大変心強く、町の大きな財産です。



大役を果たした遠嶋芽衣議長

とても貴重な経験になりました

とおしま めい
子ども議会議長 遠嶋 芽衣 平内中3年

議長役は、進行自体は台本があるので難しいものではありませんでしたが、聞き慣れない言葉の発音が合っているのか分からず、少し困りました。しかし、学校で感じることもない重々しい中での議長経験は、後々の自分にとって、きっと実のあるものになると思いました。

子ども議会を終えて～講評～

ふなはし たけひと
平内町議会議長 船橋 健人

議場での子ども議員の皆さんの態度、大変立派で我々議員も見習わなければならないと思いました。

身近な地域の社会問題をテーマに挙げられていて、子ども議会ならではの率直な意見を拝聴し、我々議員も参考になりました。貴重なご意見、ありがとうございました。



講評をしている船橋健人町議会議長

令和7年 第3回定例会開催 9月4日～12日

令和6年度一般会計・特別会計の決算を認定しました

令和7年第3回定例会が9月4日から12日までの9日間の会期で開催されました。

決算特別委員会において審査された、令和6年度一般会計・特別会計決算のほか、令和7年度一般会計・特別会計補正予算案、条例案、財産の取得、人事案など20件が町長から提出され、審議の結果いずれも原案のとおり「認定」「承認」「可決」「同意」しました。また、陳情1件を「採択」し、国への意見書1件を原案のとおり「可決」しました。



(万単位で端数処理しています)

特別会計

●国民健康保険特別会計

歳入 18億5,787万円 歳出 18億2,488万円

●特殊索道事業特別会計

歳入 2,847万円 歳出 2,781万円

●介護保険特別会計

歳入 15億6,144万円 歳出 14億3,191万円

●後期高齢者医療特別会計

歳入 3億9,220万円 歳出 3億8,883万円

●国民健康保険平内中央病院事業

区分	収入	支出
収益的収支	14億6,648万円	15億3,865万円
資本的収支	5億4,098万円	6億 925万円

●水道事業

区分	収入	支出
収益的収支	2億9,466万円	2億5,475万円
資本的収支	8,882万円	2億1,775万円

●下水道事業

区分	収入	支出
収益的収支	4億5,652万円	4億8,221万円
資本的収支	2億7,452万円	3億5,038万円

健全化判断比率

比率の名称	当町の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15%
連結実質赤字比率	—	20%
実質公債費比率	10.9%	25%
将来負担比率	69.4%	350%

※実質赤字額及び連結実質赤字額がないため「—」で表示

町の積立金（令和6年度末残高）

財政調整基金、減債基金、地域づくり特別事業基金、公共施設等整備基金、奨学資金貸付基金、特別導入事業基金、地域福祉基金、下水道事業償還基金、国民健康保険財政調整基金、介護保険財政調整基金、森林環境基金

総額 24億2,194万円

町の借入金（令和6年度末残高）

【地方債】

公共事業等借入金、一般単独事業借入金、学校教育施設等整備事業借入金、一般補助施設整備等事業借入金、辺地対策事業借入金、過疎対策事業借入金、災害復旧事業借入金、一般廃棄物処理事業借入金、財源対策借入金、臨時財政対策借入金など

総額 78億9,486万円

【企業債】

病院事業借入金	6億2,239万円
水道事業借入金	10億7,204万円
公共下水道事業借入金	23億5,863万円
農業集落排水事業借入金	4億3,471万円
漁業集落排水事業借入金	6億9,853万円
浄化槽事業借入金	2,095万円

資金不足比率

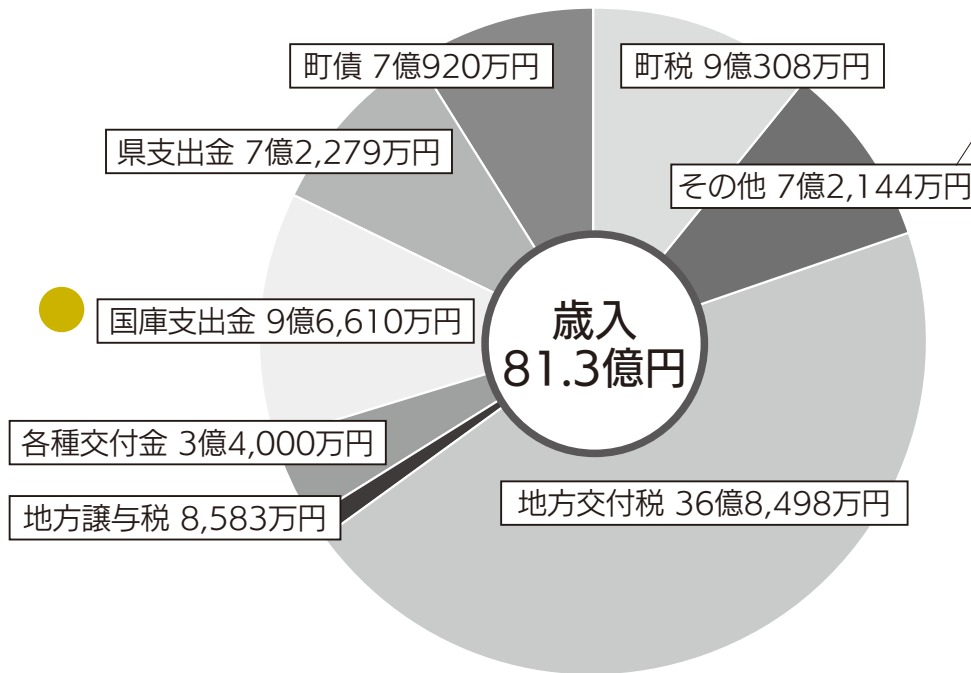
比率の名称	当町の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20%
病院事業会計	—	20%
下水道事業会計	—	20%
特殊索道事業	—	20%

※資金不足比率が算定されないため「—」で表示

令和6年度 一般会計決算額

歳入 81億3,342万円
歳出 79億7,300万円

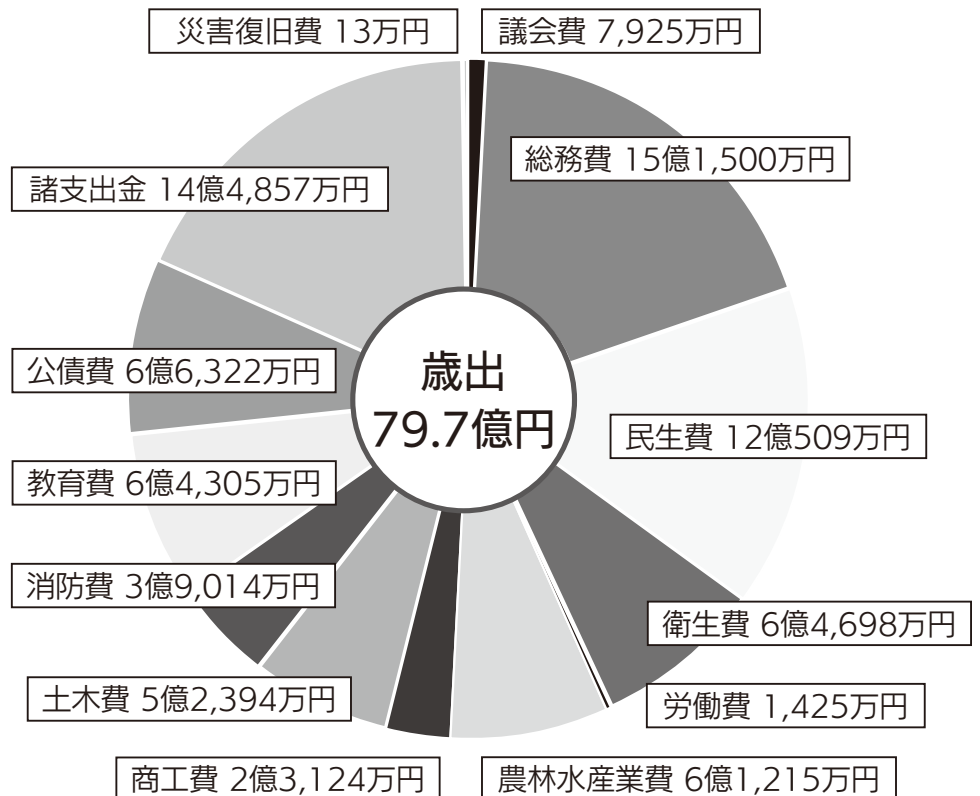
歳入歳出の差引残額1億6,042万円は繰越明許費の一般財源分1,782万円を差し引いた残額1億4,260万円のうち、地方自治法の規定に基づき、財政調整基金へ8,000万円を積立し、残額6,260万円を令和7年度へ繰越しすることになりました。



【寄附金の推移】

令和2年度	930万円
3年度	2,442万円
4年度	4,743万円
5年度	6,744万円
6年度	6,972万円

年々寄附金の額が増えてるね
平内町を応援してくれている
人がたくさんいるんだ



町民一人当たりでは
約819,424円の支出だよ



※令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口9,730人による

決算審査

適正に使われましたか 今後に どう活かしますか



委員長
太田 満則



副委員長
田中 大

決算審査は予算が目的にそって、
「適正に、効率的に執行されたか」
「どのように行政効果が発揮できたか」
「今後の行政運営に改善工夫がなされるべきか」を審議する場です。

一般会計

歳入

▼森林環境譲与税増の理由は

亀田弘徳委員 森林環境譲与税が当初予算より約1,000万円増えた理由は。

農政課長 令和6年度に配分率が見直され、前年より1,000万円程度上乗せされた。

▼青少年ホーム利用の活性化策は

亀田弘徳委員 利用者減少に伴う使用料の減少だと思うが、活性化策はあるか。

生涯学習課長 利用者減少による利用料減少。利用者の高齢化もあり活性化策は検討中。

▼入園料減少理由と来園者増への施策は

亀田弘徳委員 サボテン公園の入園料が前年比で2割近く減少している。原因と来場者を増やす取組は。

水産商工観光課長 冬期間の大雪と近年の燃料費高騰により、冬期間の動きが鈍いことが原因。既存施設を最大限活用し、おもてなしを行う。



入園券を求めるお客さん

歳出

▼今後の看板設置予定は

田中茂勝委員 津波想定看板設置地区と今後の設置予定は。

総務課長 東和地区13か所、浅所地区14か所、間木地区7か所、東滝地区8か所の42本の電柱に設置した。今後は有利な補助金があれば追加を検討する。

▼新庁舎予定地の地盤沈下リスクは

亀田弘徳委員 道路改良工事と水道管布設工事を行っているが、周辺の造成した土地が沈下しないか、地盤が安定した状況になっているのか。

総務課長 現状、特に沈下もなく、安定した状態と考えている。今後も状況を注視し、必要があれば地盤改良等を検討する。



造成時の新庁舎建設予定地

歳 出

▼新庁舎予定地の排水機能は

亀田弘徳委員 現在の役場新庁舎建設予定地において、消防庁舎建設後に大雨が降った際、新庁舎建設予定地からの排水が過多となり、一時的に近隣の民家が冠水したことがあった。

今後整備が進み、より多くの排水が流れた際に近隣への冠水が生じないように検討を。

総務課長 令和5年の大雨の際、一部住宅において床下浸水が確認された。当時周辺の水路を施工中で、当該箇所の集水ますが完成しておらず、排水が機能しなかった。現在整備中の水路は5年に1度の大雨にも耐えうる設計を基に整備されている。

亀田弘徳委員 敷地から出た後の、青い森鉄道までの側溝は既に整備済みか。

地域整備課長 現在、青い森鉄道下のヒューム管、それに続く水路等に不良があるか調査を行っている。結果を見て必要であれば対応を検討していく。

▼旧浜子操車場跡地の活用方法は

亀田弘徳委員 令和8年度から旧操車場跡地を建設発生土のストックヤードとして本格的に利用開始するのか。

総務課長 道路及び水道を整備した箇所は今後も企業誘致のために残しておき、その周辺を建設発生土置場として活用したい。

▼デマンド交通制度の周知を

田中光弘委員 令和6年度のデマンド交通の実績と利用状況は。

企画政策課長 実績としては約1,300人の利用。だんだんと増加している。

田中光弘委員 制度の周知方法について、車を持っていない方へ町内会の役員にチラシを配布していただいたり、町内会の総会時に役員の方から説明をしてもらう等の工夫をしてはどうか。

企画政策課長 提案があった周知方法のほか、効果的な周知方法について今後検討して、利用者の増、新規者の増につなげたい。

▼町内会等運営助成金の継続を

荒内護委員 町内会運営助成金に対する町内会の反応と今後の継続は。

総務課長 町内会としては、非常に大きな財源であるという好評をいただいている。しかし、当初は令和5年度単年度に限り支出する予定だったが、令和7年度まで3年間努力して支出してきた。財源があれば恒久的に支出をしたいが、今後については上司と相談しながら検討したい。

▼地域おこし協力隊の充足を

亀田弘徳委員 隊員の充足を図っていただきたい。

企画政策課長 これまで任期満了1名、今年度スポーツ分野で1名採用手続き中。

亀田弘徳委員 隊員の精神衛生上、できればもう1名追加してほしいが、現在も募集を継続しているのか。

企画政策課長 当初1名で募集をしている。今後増やす必要があれば、再度募集をする。

亀田弘徳委員 着任後のミスマッチを防ぐ取組は。

企画政策課長 お試し地域おこし協力隊制度の活用を検討中。2泊3日程度の期間で実際の業務を体験できる仕組みで、これによりミスマッチを防ぐことができると考える。



協力隊員の事務所「まちなかオフィス」

▼補助金の減額理由は

田中茂勝委員 町社会福祉協議会運営補助金が1,000万円減少した理由は。

福祉介護課長 新規事業開始に伴い一部人件費を別事業から支出。併せて車両購入助成終了による減額。

歳 出

▼風疹抗体検査の実績は

亀田弘徳委員 今年度で終了の事業だと認識しているが、最終的な実績は。

健康増進課長 令和6年度合計で18件である。

▼残渣処理施設の方向性は

畑井勝廣委員 計上された旅費の内容は。

水産商工観光課長 平内町水産業系廃棄物処理施設計画検討委員の旅費である。

畑井勝廣委員 視察はどこへ行ったのか。また、どういう内容か。

水産商工観光課長 南伊豆でごみ処理をしている器具、機械設備を見学した。再利用を目的に処理する設備であった。

畑井勝廣委員 今後の方向性とスケジュールは。

水産商工観光課長 今後、実証実験を行う予定である。ただ、実現するかどうかは、検討委員会で審議することになる。

詳細は検討委員会で検討中。少々時間が必要と考えている。



南伊豆町のごみ処理設備

▼リフォーム補助金の補助率引き上げを

田中光弘委員 現在の補助率はリフォーム費用の10分の1で上限20万円である。事業開始から13年が経過し、年々利用者数は増加傾向にあり、資材価格高騰なども踏まえ補助率、上限額の引き上げを行うべき。

水産商工観光課長 利用率の高い事業であるが、予算が限られていることもあり、他市町村の動向を見ながら検討する。

▼夜越山森林公園の獣害対策は

荒内護委員 パークゴルフ場の備品購入費には、クマ対策用の備品を含んでいるのか。また、夜越山森林公園内のオートキャンプ場、パークゴルフ場の獣害対策は指定管理者のみで行っているのか。

水産商工観光課長 パークゴルフ場の備品購入費は乗用草刈り機の購入に係るものでクマ対策用備品は含んでいない。

夜越山森林公園内のクマ対策については、今年度公園内で目撃情報があったことから、指定管理者と出没位置の共有を行い、利用者への周知を行っている。併せて水産商工観光課でクマの注意喚起をする看板を設置した。

今後も情報が入れば迅速に周知を行う。



クマの注意喚起をする看板

▼木造住宅耐震診断申請を簡潔に

田中光弘委員 令和6年度は申請がなかったという認識だが、制度に該当せず申込件数が0となったのか、そもそも申込件数が0件だったのか。

地域整備課長 申込件数が0件であった。

田中光弘委員 現行の広報だと、町民の方は自宅が対象となるか判断が難しいのではないかと。もう少し表現を分かりやすくできないか。

地域整備課長 国の補助事業を活用している事業で、広報へはそのまま対象条件を載せている。次回以降、事業継続するのであれば、分かりやすい周知方法を検討したい。

国民健康保険特別会計

歳入 18億5,787万円 歳出 18億2,488万円
 加入者数 2,890人
 医療給付額 10億5,304万円
 現年度分収納率 95.64% (前年96.68%)

水道事業会計

当年度純利益 3,169万円
 当年度末処分利益剰余金 3,169万円
 給水人口 9,192人
 給水普及率 96.8%

【管路整備】

- 狩場沢配水管布設替工事
- 町道山口線の布設替工事

【機械整備】

- 小湊浄水場急速ろ過機更生工事及び配水池水位計取替工事並びに排水ポンプ取替工事
- 松野木浄水場の配水池水位計取替工事
- 童子浄水場の残留塩素計改修工事及びNO.2次亜注入ポンプ取替工事
- 浪打浄水場のNO.2次亜注入ポンプ取替工事

下水道事業会計

当年度純損失 1,839万円
 当年度末処理欠損金 2億8,354万円
 加入率 56.6%

田中茂勝委員 加入率は上昇しても、人口減少に伴い加入者が減り、事業収入が減少する。この状況をどのように考えているか。

地域整備課長 収入を増やし、自立した経営を目指すということで今まで同様加入率の増加に努める。

船橋侑雅委員 繰越欠損金がこのまま積みあがっていった際に、事業に与える影響は。

地域整備課長 増え続けると補填するために一般会計からの繰入金が増える。経営状況としては悪くなっていく。

平内中央病院事業会計

当年度純損失 1億 952万円
 当年度末処理欠損金 12億4,667万円

【入院】 一般病床48床 療養病床48床

○延べ患者数 26,276人
 (前年比 1,381人、5.0%減)

○一日平均 72.0人 (前年比3.6人減)

○病床利用率 75.0% (前年比3.7ポイント減)

【外来】

○延べ患者数 23,983人
 (前年比1,151人、4.6%減)

【介護サービス事業】

○延べ利用回数 3,517回
 (前年比27回、0.8%減)

亀田弘徳委員 病床利用率が85%から88%で黒字を達成したことがある。これが85%くらいになると入院収益がだいたい12%くらいアップする。85%まで上げるためにどのような取組をしているか。

病院事務局長 東青の医療圏外の病院との連携を昨年10月より模索し、今年8月までに15人をを超える患者を入院で迎えた。

特殊索道事業特別会計

歳入 2,847万円 歳出 2,781万円
 指定管理料 1,639万円 圧雪車借上料 472万円

介護保険特別会計

歳入 15億6,144万円 歳出 14億3,191万円
 対象者 4,236人、認定者 764人
 現年度分収納率 99.85% (前年99.72%)

田中茂勝委員 居宅介護サービスを受けられている方の人数を。

福祉介護課指導監 年間受給件数8,577件、月の受給者数が351人、受給件数が702件となっている。

後期高齢者医療特別会計

歳入 3億9,220万円 歳出 3億8,883万円
 対象者 2,345人
 現年度分収納率 99.17% (前年99.34%)

ホタテ残渣収集

及び処理業務委託料

など

1億5,432万円増額 総額81億8,146万円

歳入

(万単位で端数処理しています)

◆国庫支出金 戸籍システム整備補助金等	646万円	◆財産収入 部分林立木売払収入等	266万円	◆繰越金 前年度会計から	4,260万円
◆県支出金 給食無償化等子育て支援交付金他	1,865万円	◆寄附金 一般、ふるさと納税寄附金	2,730万円	◆諸収入 ホタテ残渣処分料等	7,322万円
◆繰入金 財政調整基金繰入金減額（介護保険、後期高齢者医療特別会計からの繰入増額による）	△1,657万円				

主な歳出

- 役場庁舎整備事業 整地工事 2,313万円
設計・協議の結果、盛土を1メートル程度削ることとなった。



整地工事の中の新庁舎建設予定地

- ホタテ残渣収集運搬及び処理業務委託料
7,266万円
総額 1億9,266万円（当初予算 1億2,000万円）

- ほたて貝養殖業特別対策補助金 1,160万円
漁業共済掛金に町から補助率3%分を上乗せ。
例年7%の補助率を平内町漁業協同組合の要請に応じて10%に。

▼農業用ドローン操縦資格取得補助率は

畑井勝廣委員 農業用ドローン資格補助率は。
農政課長 2分の1で上限額15万円である。

▼食器購入費は破損恐れ食器分も含むのか

荒内護委員 給食センターの食器破損による備品購入は、破損恐れ食器も含まれているのか。
学校教育課長 含まれず、破損食器を補充した。

- 自治体情報システム標準化・共通化事業 320万円
●ふるさと納税促進事業 1,219万円
・特典贈呈業務委託料
・申込受付業務委託料
・事務委託料ほか
●公民館事業費 駐車場補修工事 316万円
・東滝コミュニティセンター
・藤沢コミュニティセンター
●後期高齢者医療繰出事業 278万円

特 別 会 計

国民健康保険特別会計

歳入、歳出とも1,191万円増額

総額19億11万円

歳入：決算剰余金確定により繰入金を減額、繰越金、諸収入及び国庫支出金を増額

歳出：総務費、国民健康保険事業費納付金及び諸支出金を増額

介護保険特別会計

歳入、歳出とも1億593万円増額

総額15億7,779万円

歳入：国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、財産収入及び繰越金を増額、繰入金を減額

歳出：総務費、保険給付費、地域支援事業支出金、基金積立金及び諸支出金を増額

後期高齢者医療特別会計

歳入、歳出とも337万円増額

総額3億7,646万円

歳入：繰越金を増額

歳出：諸支出金を増額

特殊索道事業特別会計

予算総額に変更ないが、前年度繰越金が確定したことによる予算調整。

歳入：一般会計繰入金を減額し繰越金を増額

歳出：充当財源を組替

下 水 道 事 業 会 計

収益的収入

- ・営業外収益 一般会計補助金
(資本的収入から組替) 4,772万円

資本的収入

- ・企業債 (実績見込みによる増) 3,910万円
- ・一般会計補助金 (収益的収入へ組替)
△4,772万円

収益的支出

- ・営業費用 (路面復旧費、修繕費、時間外手当増)
549万円

資本的支出

- ・建設改良工事費 (委託料、工事請負費増)
2,446万円

専決処分

(令和7年8月8日専決)

一 般 会 計

歳入、歳出とも730万円増額

★水道事業会計繰出金 728万円

水道基本料金減免1か月分の追加予算を水道事業会計へ繰出

水道基本料金の減免を10月、11月の2か月を予定していたが、物価高騰対応臨時交付金の追加交付が決定したことにより、10月から12月の3か月に延長。

10月料金分の水道メーター検針前に減免について広報する必要があることから、早急な予算措置が必要になったため。(6月定例会で1,567万円(10・11月分)予算措置)

★ふるさと納税促進事業 2万円

令和6年度分寄附分の活ホタテが、貝毒等による遅延が続いたことで、寄附者から寄附辞退の申し出があったため、返還金の早急な予算措置が必要になったため。

人 事

平内町教育委員会教育長

わたなべ しんいち
渡辺 伸一



10月7日で任期満了の渡辺伸一氏（60）の再任に、満場一致で同意しました。

任期：令和7年10月8日～令和10年10月7日
（3年間）

平内町教育委員会委員

こん よしひろ
今 芳廣



10月24日で任期満了の今芳廣氏（74）の再任に、満場一致で同意しました。

任期：令和7年10月25日～令和11年10月24日
（4年間）

条 例

平内町犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等の支援に関する基本となる事項を定め、犯罪被害者等が受けた被害の回復及び軽減を図ります。

町民が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指すために新規制定。

施行年月日 令和7年10月1日

田中光弘議員 見舞金支給制度による金額の規定は。

町民課長 遺族見舞金30万円、傷害見舞金10万円を規定したい。

発 議

意見書 関係機関に提出 「高額療養費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書」

青森県社会保障推進協議会（青森市安方1丁目11-6）の陳情書を全議員賛同で採択し、議会としての意見書案も可決し、関係機関に提出しました。

意見書抜粋

2025年政府予算案には、患者が支払う高額療養費の自己負担限度額を段階的に引き上げる「見直し」が含まれていたが、がん患者団体をはじめ国民世論を受け、当面、引き上げ案を凍結し、今年秋までに改めて方針を検討し、決定することとなりました。

今回の引き上げは、治療が長期にわたるがんや難病の患者など、制度を利用する当事者の方々に甚大な影響を及ぼします。

財産の取得

学習者用コンピュータ等

国の方針に基づき、5年を経過したGIGAスクール構想の第2期を見据え、児童・生徒1人1台のタブレット型コンピュータ等615台を整備します。

取得する財産	学習者用コンピュータ等
取得方法	県の共同調達による随意契約
取得価格	3,368万9,700円
契約の相手方	青森市浜田豊田156-2 株式会社ビジネスサービス 青森支店

提出先 衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・財務大臣・
厚生労働大臣

平内町議会

◆ 採 決 結 果 ◆

議案番号	提出議案
議案第49号～ 議案第56号	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について 令和6年度特別会計歳入歳出決算認定について（7件）
報告第18号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔令和7年度平内町一般会計補正予算〕
報告第19号	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて〔令和7年度平内町水道事業会計補正予算〕
議案第57号	令和7年度平内町一般会計補正予算案
議案第58号	令和7年度平内町国民健康保険特別会計補正予算案
議案第59号	令和7年度平内町特殊索道事業特別会計補正予算案
議案第60号	令和7年度平内町下水道事業会計補正予算案
議案第61号	令和7年度平内町介護保険特別会計補正予算案

議案番号	提出議案
議案第62号	令和7年度平内町後期高齢者医療特別会計補正予算案
議案第63号	平内町犯罪被害者等支援条例案
議案第64号	財産の取得について〔学習者用コンピュータ等〕
議案第65号	平内町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
議案第66号	平内町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
陳情第1号	「高額療養費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書」の提出を求める陳情
発議第4号	高額療養費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書案

以上22件 全議員賛成

一般質問 町政を問う

一般質問は執行機関に対して議員が町政全般の執行状況や将来の方針など、諸問題の政治姿勢を明らかにするものです。9月定例会では6人の議員が登壇しました。

採決／町政を問う

田 中 大 議員 …… P 18

- 1 「保育園留学」の受け入れについて

荒 内 護 議員 …… P 19

- 1 平内町防災組織について
- 2 防災危機管理課の設置と防災危機管理監の配置について

田 中 光 弘 議員 …… P 20

- 1 役場証明書交付について
- 2 平内町地域公共交通計画について
- 3 平内町公共施設等総合管理計画について

※質問は通告順です。次ページからの質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

田 中 茂 勝 議員 …… P 21

- 1 少子化対策について
- 2 平内中央病院の外来の待ち時間の短縮について
- 3 公民館分館等の冷房設備について

船 橋 侑 雅 議員 …… P 22

- 1 誰一人取り残されることのない町づくりに向けて
- 2 地域活性化起業人の受け入れについて

亀 田 弘 徳 議員 …… P 23

- 1 ナラ枯れ及び松くい虫被害について
- 2 農業用水利施設の整備について
- 3 若者の視点を入れ、地域の課題解決を

きら
青の煌めきあおもり国スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



平内町開催競技

公開競技 綱引

正式競技 ゴルフ（成年男子）

令和8年8月22日・23日（会場：平内町立体育館）

令和8年9月 9日～11日（会場：夏泊ゴルフリンクス）



たなか だい
田中 大 議員

「保育園留学」の受け入れを

町長 / 検討する

田中 全国各地で「関係人口」の創出や「選ばれる地域づくり」に向けた様々な取組が始まっているが、その中でも今、新たな光明として静かな注目を集めているのが「保育園留学」という仕組みである。

「保育園留学」とは、都市部の子育て世代が一定期間、地方の保育園に子どもを通園させながら、その地域で暮らすという新しい形の地域滞在・交流型の取組であり、保護者もリモートワークや休暇などを活用し、地域に滞在する「保育園を起点とした地域体験」であり、地方政策に新たな可能性をもたらす一手として捉えるべきである。

「保育園留学」がなぜ、子育て世代の心を惹きつけるのか。

第一に、都会では得難い豊かな自然の中で、五感を通じて深く自然と交わる体験が、子どもたちの豊かな感受性や社会性を育む、質の高い教育的価値を有する。

第二に、リモートワークの活用により、保護者は仕事と充実した余暇を両立させ、家族全体の生活の質そのものを向上させる。

第三に、数週間からという「お試し」の形が気軽な参加を促し、体験者のSNS等を通じた好意的な情報発信が、次なる参加者を呼び込む好循環を生み出している。

これら三つの要素は、豊かな自然環境を有する当町にとって、まさにその強みを最大限に発揮できる。

受け入れる地方も、保育園の空き定員の活用や保育士の雇用維持による運営基盤の強化、観光・交通・宿泊など地域経済への波及効果、将来的な移住・定住の契機にもつながる。その効果は、全国で1,000家族3,500人が体験し、99%というリピート率を記録している。



ジャングルジムで遊ぶ幼児たち

当町として、今後の移住・定住政策の新たな柱として「保育園留学」の制度設計や受け入れ体制の構築について、本格的に検討するべきだ。民間保育園事業者や教育委員会、観光部門との連携の下、モデル事業としての実施可能性を探る中で、制度的課題の整理や家族全体の滞在支援など、中長期的な関係人口政策としての位置づけを明確にし、ビジョンをもって推進するべきと考えるが。

町長 「保育園留学」には、家族が滞在するための宿泊施設や移住体験施設などの住環境、子どもが通う保育園の選定・調整が必要であり、町には1～2週間程度滞在できる適当な施設がないこと、保育士不足により保育園の受け入れ体制の確保が懸念されることから、現段階での実施は難しい。

今後、他自治体の先行事例の情報収集を行い、事業の効果や財政的負担を考慮しながら、実施の可能性について検討を進める。

町の防災体制は



荒内 護 議員
あらない まもる

町長 / 全職員に浸透させていく

荒内 「平内町防災計画第2章防災組織第3節 職員の動員」では、「災害対策本部が組織された場合は、全職員が登庁して対処する」とある。勤務時間外の有事の際に職員がスムーズに登庁できるのか。仮に管理職のうち、町外居住者が50%を超えるようなことになると、この防災計画は立ちいかなくなるような気がするが、災害対策本部員となる課長級を含め、職員の居住地の町内外別割合はどうか。

町長 令和7年度現在の職員数は、病院職員を除き137人。うち町内在住者107人、町外在住者30人である。管理職は30人のうち町外在住者8人である。

荒内 有事の際に職員はどのくらいで駆けつけ、どれくらいの時間で体制を整えることができるのか。また、組織として全職員がしっかり把握しているのか。

町長 災害発生後、町内在住職員は1時間程度で参集できる見込みである。人員を確保できない物資の配布、応急対応などに従事する。しかし、すべての役割を町職員が担うことは不可能であり、町内会や消防団など、地域住民の共助が必要不可欠であるので災害発生時には積極的な協力をお願いしたい。

また、全職員が初動対応を把握しているわけではないので、実効性のある体制を浸透させたい。

荒内 迅速に対応をしないと町民の命を守ることはできない。また、計画の第3節に「初動体制マニュアルに基づき速やかに所属勤務場所に登庁」とあるが、このマニュアルは現状に合っているのか。

総務課長 平成20年に更新したマニュアルなので現状に合っていないところもある。町外居住職員の初動対応も含め、新たなマニュアルを策定したい。

防災危機管理課の設置と 危機管理監の配置を

荒内 以前にも質問したが、防災危機管理課を新設し、専属の職員を配置することにより、環境や社会情勢の変化にスピード感をもって対応することができる。このような考えにはならないか。改めて伺う。

町長 町の財政や他の事務事業の関係から新たに独立した課の設置と専属職員を配置することは困難な状況である。現状の職務分担を維持し、迅速で効率的な体制づくりに取り組む。

荒内 社会情勢の変化に対し、常に対応するには防災管理監は専属でなければならない。現在の管理監はどのような立場の職員が配置されているのか。

総務課長 総務課長が兼務している。

町長 / 課設置と職員配置は困難



稲生地区防災備蓄倉庫



たなか みつひろ
田中 光弘 議員

郵便局での証明書交付を

町長 / 今後の検討課題である

田中 高齢者や自家用車がなく、免許自主返納者にとっては、窓口来庁に不便が伴う。

スマートフォン等からの申請、手数料納付が困難な方にとっては、郵便局事務取扱法に基づき、郵便局窓口で自治体が発行する証明書の交付事務を受託することが可能となっているため、検討する余地がある。

町長 数回にわたり利便性向上の施策として、コンビニ交付の導入を関係機関と協議してきた。しかし、システム導入費用や維持管理費用などのランニングコストが高額なため、現在の財政状況ではシステム導入は困難と判断した。郵便局への



郵便局での交付を

委託も同様で難しいと考えているが、今後は前向きに検討していきたい。

田中 郵便局が管内4か所あるが検討するのか。

町民課長 郵便局、コンビニと共に検討したい。

新庁舎開庁時の交通機関の計画見直しは

田中 計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間である。計画策定後に町民バス高齢者等無償化事業、デマンド型交通運行委託が進められ、2年後の令和9年秋に沼館地区に新庁舎が開庁する。前回の策定時とは様相が変わってきている。計画の見直しはどうか。

町長 令和8年度からスタートする計画を策定中である。既に実施している町民バス高齢者等無

町長 / 新庁舎関連 協議後に計画へ追加

償化事業やデマンド交通は、改訂版に盛り込む予定だが、新庁舎開庁に伴う変更点は現時点で事業メニューとして記載はしない。新庁舎に係る詳細が見えてきたら、バス停や路線経路等の変更について、町民バス委託事業者の下北交通株式会社や公共交通関係事業者と協議を行い、地域公共交通会議に諮り、追加したい。

実施可能な公共建築物計画を

田中 公共建築物数は平成27年度末時点で139施設、延べ面積の合計は8万9,000平方メートルである、内訳として学校関係施設が27%、スポーツ・レクリエーション施設16%、文科系施設12%、行政系施設8%、医療施設が7%で、今後は延べ面積を約3割削減に努めるとしている。

しかし、令和6年度に公共工事設計労務単価が全国全職種単純平均で前年度比5.9%増で、12年連続の引上げである。計画の公共建築物の更新単価は現実の数値と比べて合わなく、公共施設の改

町長 / 物価上昇等を反映した推計へ

修・更新への影響が及ぶ。令和9年からの第2期個別施策計画では、具体的な実施計画を作成すべきである。

町長 計画の公共建築物の更新単価は、計画策定時は総務省の算定基準で推計したものだが、その後は物価上昇等を反映した新たな算定基準が示されていない。

今後も総務省からの指示がない場合は、他自治体の計画等を参考にし、令和8年度の改定時に物価上昇等を反映した推計を行う予定である。

少子化対策事業の継続は



たなか しげかつ
田中 茂勝 議員

町長 / 今後も継続していく

田中 町長は就任以来、少子化対策として国に先駆けて保育料の無償化などの施策を実施してきたが、子どもは増えていないのが現状ではないか。

今後もこれらの事業を継続していくのか。

町長 厚生労働省の人口動態統計特殊報告では、当町の平成30年から5年間の合計特殊出生率は1.44と、全国及び県の1.33を0.11ポイント

上回り、その前の5年間の1.40から0.04ポイント上昇している。

全国的に人口減少が進む中、子どもの数を増やすことは大変困難だが、できるだけ減少スピードを遅らせるよう、今後も引き続き、国や県の少子化対策とも連携し、保育料完全無償化などの子育て支援、少子化対策の実施を継続していきたい。

平内中央病院 外来待ち時間短縮を

田中 中央病院の外来患者の多くは私を含めて、待ち時間が非常に長いと感じている。

待ち時間の短縮についてどのような対策、対応をしているのか。また、今後予約制などの導入について検討しているのか伺う。

町長 当院の診療体制は、5人の常勤医師がそ



平内中央病院の外来待合室

町長 / 患者負担軽減へ尽力

れぞれ外来・入院・訪問診療を兼務し、さらに月4回程度の宿直業務を担いながら地域医療を支えている。また、診療応援の医師にも協力いただき、ご案内の時間よりも早い時間から診療を始めていただくなど、待ち時間短縮に向けた工夫を行っている。

しかし、外来診療は患者一人ひとりの症状により診療時間が異なり、救急搬送への対応も加わることから、診療の進行が予定どおりに進まない場合がある。予約制の導入は、新患や急患の対応が難しくなり、安全で公平な医療の提供に支障を来すと想定されることから、現時点での予約制導入は考えていない。

今後とも限られた体制の中で、少しでも患者負担軽減のため、診療の効率化や職員一丸となって対応に努めていく。

公民館分館へ冷房設置を

田中 当町の公民館分館施設は合わせて31か所だが、冷房設備を備えている所は少ない。

7月に実施された参議院通常選挙では、気温が30度前後もあったことから、投票立会人やその事務職員は猛暑の中で何時間も拘束されていたため、大変厳しい環境であったと伺っている。

公民館分館施設にエアコン設置を要望する声が非常に高いが、町としての対応を伺う。

町長 当町の公民館の中で冷房設備が備えられている施設は3分館で、13分館が選挙時の投

町長 / 総合的に勘案し検討

票所として使用され、熱中症予防や環境改善の観点からも、冷房設備の整備は重要な課題であるが、長期的な維持費を伴う設備投資のエアコン設置は、町の財政に大きな影響を及ぼす。

例えば令和9年に完成予定の新庁舎への移転に伴い、現庁舎にあるエアコンを分館等に移設する方法も一案であると考えている。地域住民の利便性や施設の持続的な利用、費用負担のあり方などを総合的に勘案し、検討したい。



ふなはし ゆう が
船橋 侑雅 議員

エアコン設置費助成を

町長 / 財源を考慮し総合的に判断

船橋 近年の猛暑により住宅内での熱中症が全国的に深刻化している。特に高齢者や低所得世帯では経済的理由からエアコンが未設置または故障したままのケースがあり、命を守る環境整備が急務となっている。

住宅内での熱中症対策に対する町の認識、エアコン設置費用の助成制度導入の可否、高齢者や低所得世帯に限定した助成をできないか町の見解を伺う。

町長 近年の猛暑により住宅内での熱中症発生が増加し、高齢者や低所得世帯では命を守る環境整備が急務となっている。町は、熱中症を非常に重要な課題と認識し、危険な暑さが予想される際には防災無線や消防車両による注意喚起を行い、郵便局や役場などを涼み処として開放している。

また、健診説明会や高齢者昼食会で直接呼びかけを行い、職員訪問時には熱中症指数計を用いた啓発も実施している。エアコン設置助成制度については現時点で導入予定はないが、町の財政状況や他の福祉施策との優先順位を総合的に判断しな



熱中症対策にも有効な家庭用エアコン

がら、対応していきたい。

船橋 熱中症の約4割が住宅内で発生しており、涼み処の開放だけでは十分な対策とはいえないのではないかと。

福祉介護課長 高齢者は住宅での熱中症リスクが高いことを認識している。現時点で町独自の助成制度導入予定はないが、熱中症対策として有効であると考えている。県内自治体の動向を注視し、限られた財源を考慮しながら総合的に判断する。

地域活性化起業人の受け入れを

船橋 人口減少や高齢化に伴う人材不足が課題となる中、地域活性化起業人制度は都市部の人材を一定期間自治体等に派遣し、課題解決や地域振興に取り組む仕組みである。

人材不足の補完や新たな視点の導入に加え、企業や本人にとっても社会貢献や人材育成につながる制度であり、観光振興や産品ブランド化、行政DX推進などで効果を上げている。町として制度の趣旨をどう認識しているのか、また受け入れの意向を伺う。

町長 町は、少子高齢化や人手不足が進む中で外部人材の活用は重要と認識しているが、現時点で地域活性化起業人の受け入れは具体的に検討し

町長 / 実情に合った活用を模索

ていない。受け入れを進める場合は観光や産業振興、情報発信、デジタル推進、子育て支援など幅広い分野での活用が想定され、まずは庁内で制度を共有し、県内外の事例を参考に町の実情に合った形を模索する。

船橋 総務省のホームページから先進事例がいくつも公表されている。より早期に検討するべきではないかと。

企画政策課長 町が既に民間委託で行っている事業の中にも活用可能なものがあると考えられる。まずは全庁に制度内容を周知し、各担当課で活用の可能性を検討していく。

ナラ枯れ予防策を



かめだ ひろのり
亀田 弘徳 議員

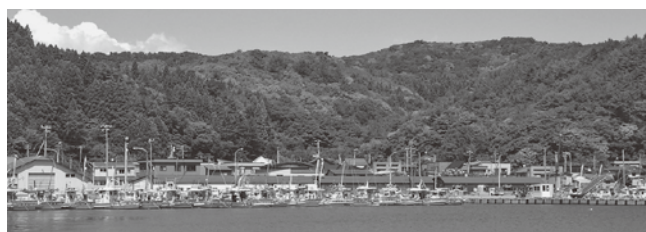
町長 / 国・県と連携し、保護対策等を進めていく

亀田 ナラ枯れ被害は、平成22年度に県内で初確認されて以来、拡大を続け、令和5年度に平内町でも被害が確認された。ナラ枯れの監視体制と県との連携、体制の整備方と今後の展望は。

町長 平成28年度から被害拡大防止に向けて監視、駆除、予防を実施していたが、対策を上回る早さで被害が拡大している。県の対策基本方針により、危険木などに限定して駆除を実施している。今後は、県のナラ林選定要領に基づいて保護対策等を進めていく。

亀田 被害対策・予防対策は。

町長 今後、守るべきナラ林に選定し、県の補助を受けての管理を考えている。ナラ枯れ被害は風等により、被害木から離れた場所でも発生の可能性があり、県内全域への被害拡大が懸念される。



ナラ枯れ被害が見られる稻生地区

国、県等の関係機関と連携し、ナラ枯れの予防知識や被害情報の収集・提供等広く町民にも周知し、防除への理解と協力を得ていきたい。

亀田 松くい虫被害はどうか。

町長 令和6年度の県実施の松くい虫発生状況では、当町の被害報告はない。しかし、県が示す松類及びナラ類の伐採・移動・利用に関する留意事項に基づき、病害虫の活動が盛んな時期の伐採を極力行わないなどの対策を周知したい。

農業用水利施設の整備を

亀田 松野木地区から薬師野地区を経て、清水川地区へ至る農地に整備されている農業用水利施設の一部が未だ土側溝で、そのため毎年春に施設機能の復旧作業が行われている。当該区間の整備について、町の考えは。

町長 / 必要に応じ応急対策を実施する

町長 指摘された土側溝区間の整備について、薬師野地区へ供給されている農業用水路は水利組合で管理しているが、農業者の減少や高齢化で管理が難しくなることが予想される。今後、必要に応じ応急対策を実施する。

若者の視点を入れ、地域の課題解決を

亀田 地域課題の解決に向けた大学との連携について、現在、町の行っている事業と今後の展望は。

町長 これまで2大学、1高等専門学校と連携して、ガラス玉アート制作、地元のパン屋さんと開発した椿山酵母蒸しパンの販売、移住希望者へ向けた体験プログラムの開発などに取り組んでいる。

また、令和5年度から弘前大学と官学連携を行っており、今年度はひらない秋まつりでイベントを企画運営する予定である。今後は、事業成果

町長 / 条件が合致する場合は活用を検討

を検証し、見直しと、継続を図っていきたい。

亀田 本年より始まったふるさとミライカレッジ制度を活用し、ホタテ養殖産業、水産業での課題解決、既に成果のある企画の展開について、町の考えは。

町長 現ホタテ養殖産業、水産業での取組については、大学生の授業以外の負担、調査・研究などでの負担を考えると活用は難しいが、既に成果のある企画について条件が合致する場合は、活用を検討したい。

所管事務調査

当町の移住・定住施策と今後の課題

【総務福祉常任委員会】

7月17日、「移住定住の取組」について所管事務調査を行いました。

当町の移住・定住への取組は、住まいの支援、就業に関する支援、移住に向けた支援を実施し、併せて青森県や東青地域移住サポート協議会との連携事業を行っています。移住相談会は、東京都において東青地域移住・交流サポート協議会が主催する相談イベントの会場にブースを設け平内町の魅力を発信。令和6年11月実施の相談会では、当町への相談者は6組7人でした。また、移住体験事業も実施しており、令和6年は、東京都在住の60歳の男性がケビンハウスに宿泊し農業体験に参加しました。当日は、青森中央学院大学生8人も参加し、共に稲刈り作業の体験をしました。

委員からは、次のような意見が出ました。



企画政策課による説明

- ①移住者の年齢や移住後の職種など、ターゲットを絞っているのか、また農業や漁業に就業する場合の問題点について整理しておくべきで、特に漁業では、漁業権の問題もあることから漁協の考え方を確認しておくべき。
- ②移住者へのケアと情報収集体制を作り、移住者へのサポートをし、問題点の把握をすべき。

所管事務調査

決算書の見方のポイントを解説

【経済文教常任委員会】

7月30日、「下水道事業」について所管事務調査を行いました。

当町は令和6年度に農業集落排水事業特別会計、漁業集落環境整備事業特別会計、公共下水道事業特別会計を公営企業会計に移行し、下水道事業会計として一本化しました。

それまでの官庁会計方式に比べて企業会計に移行したことで、複式簿記に基づく財務諸表により経営状況が明確化され、減価償却の考えが導入されることで資産（インフラ）の老朽化状況の把握と更新予算の適正化が図られ、財務書類が共通化されるため自治体間で経営状況の比較が可能となります。

今回、下水道事業企業会計への理解を深め、今後の同事業への審査・認定にあたってより深い議論が出来るよう調査を行いました。

企業会計ではお金の流れを収益的収支と資本的収支で見ます。第3回定例会に提出予定の令和6年度決算書案では、収益的収支で1,838万余円の欠損金が生じ、これを公営企業適用債で補填し



地域整備課長による解説

ています。資本的収支で7,586万余円の不足額が生じ、これを現年度分損益勘定留保資金で補填していました。

【質 疑】

Q 収益的収支で欠損金が生じたが、今後どのように改善するのか。

A どうしても遅く始めた地区は、すでに浄化槽が入っているので、加入率が上がらない。改善には下水道加入率の改善と下水道料金の引き上げが必要だが、料金引き上げは簡単でないため、下水道加入率の改善に努めたい。

平内町議会基本条例を活かして議会の活性化を図る

【議会活性化特別委員会】

7月24日、25日、平内町議会基本条例「町長と議会の関係」「町民と議会の関係」の条項を活かしていくために、岩手県平泉町議会、一戸町議会の先進地の視察を行いました。



一戸町議会 正副議長他3人の議員が対応



平泉町議会 正副議長が対応

町長と議会の関係

■一般質問答弁書事前配布

両町議会の議会運営の改善方として、議員はあらかじめ答弁内容を検討し再質問の事前準備が出来ること、また、執行機関も議論を深めるメリットが大きいと推奨し、始まったとのことです。

対応してくれた両町議員からは、答弁内容が事前に解らずに再質問は困難ではとの問いがありました。議員就任時から事前配布だったので、他町村も同様との認識だったとのことです。

■決算資料「主要施策成果調書」配布

個々の事業の成果状況を把握することにより、議論が深まっているとのことです。（当町も9月定例会に初配布）一戸町では、当初予算書の他に全事業の詳細な説明書を配布しています。

町民と議会の関係

■行政への政策提言に向けた意見交換会

平泉町議会の「町民との意見交換会」では、常任委員会別に(平内町議会なら総務福祉・経済文教常任委員会)ワークショップ方式で行っています。参加者からの提案は調査し、行政への政策提言に繋げることにしているとのことです。

■防災行政無線で一般質問者名をお知らせ

→開始以降に傍聴者増加へ

青森県内で、防災行政無線での一般質問日をお知らせする町はありますが、質問者名をお知らせすることは画期的なことです。

	一般質問答弁書 事前配布	決算資料 成果調書作成
青森県30町村	2町村	17町村
岩手県19町村	14町村	16町村

適切な支援策のため、町漁協と意見交換

【ホタテガイ高水温被害対策特別委員会】

9月26日、町立山村開発センターで平内町漁業協同組合専務、参事、総務部長と意見交換会を開催しました。町からは水産商工観光課長、同指導監が同席しました。

質問要旨の①ホタテガイ販売実績、②令和6年度の高水温被害状況、③高水温被害対策、④残渣処理状況と漁協の対策についての報告を受け、意見交換を行いました。

3年連続の大量へい死は、生産者に止まらず、関連会社や雇用等、町経済にとっても大きな問題です。

議会としては、支援策を探求する上で組合との共有認識が不可欠です。



活発な議論が交わされた

研 修 報 告

議会のデジタル化に向けて始動

昨今、町役場内でもDX推進方針が定められ、デジタル化社会への対応に向けて動き出しています。

議会運営においても、全国的にタブレット型端末（以下「タブレット」）を利用したオンライン化やペーパーレス化が進んでいます。

当議会では、新役場庁舎建設に伴う議場の一新を機にデジタル化を進めるため、2班に分かれ、先進地である「南部町」と「中泊町」で視察研修を実施しました。

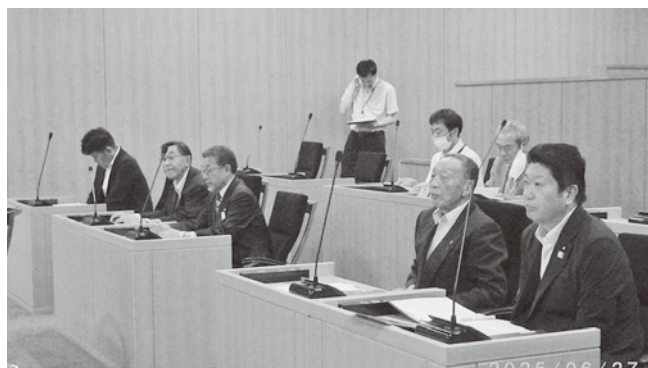


実際にタブレットで会議システムを操作（南部町）

6月24日、南部町において、議会のデジタル化について視察研修を実施しました。

南部町では平成30年度に議員からICT化の提案があり、研修・情報収集を行いました。令和元年12月に委員会を立ち上げ、令和2年5月にタブレットの導入を決定、12月に予算化し、令和3年5月に導入、試用期間を経て12月から運用を開始しました。

タブレット及び会議システム導入のメリットとして、事務連絡等の迅速化による情報共有・収集の強化、過去の資料の検索が可能、会議準備の効率化・省力化による事務局の業務改善などがあります。デメリットは誤操作で議会運営に支障となること、議場内の規律保持があるとのことでした。



タブレットに保存された資料を使用して説明（中泊町）

6月27日、中泊町において、議会のデジタル化について視察研修を実施しました。

議会における会議では、タブレットを用いることにより、紙の資料を極力無くし、郵送費やこれらにかかる手数を削減することが、環境保全や資源の節約、人手不足への対応が期待できることから、令和元年9月から導入したとのことでした。

経費的な面では、タブレットの導入前は、紙代が年間約110万円かかっていましたが、導入後は、紙代はかからないものの、通信料やGoogleワークスペース利用料などの維持費が年間約230万円かかるとのことでした。

それでも環境や少子化による人手不足を考えれば、導入するメリットは大きいとの見解でした。

東郡の議員がスポーツを通して交流をはかる

7月23日、東郡町村議会議長会主催の「議員健康管理セミナー」が今別町体育館で開催されました。

今別町保健師による血圧測定、ラジオ体操で体をほぐした後に、平内町・蓬田村・外ヶ浜町・今別町4町村議員による「ボッチャ」競技をリーグ戦形式で行いました。当議会は3位の結果でしたが、来年は主催地ですので優勝を誓いました。



チーム一丸となって戦いました



「ひらない中央児童館」で 「そろばん」を教えています

さとう はるみ
佐藤 晴海 さん
新生町在住



○自己紹介をお願いします

平内町の元町で生まれ、現在は夫と子どもと3人で暮らしています。

20年ほど町内のよさこいチームに携わっており、体で表現する楽しさを体感しています。

○ボランティア活動のきっかけを教えてください

母がそろばん塾で子どもたちに教えている姿に憧れ、令和2年4月から「そろばん」を教えます。



○現在の状況はどうですか

小学校2年生から高校1年生まで18人の児童・生徒がより上達することを目指して、足を運んでくれています。

毎週土曜日、13時～14時と14時～15時の二部に分けて、一人ひとりに寄り添い楽しみながら教えています。

○これからの抱負を教えてください

一人でも多くの子どもたちが「そろばん」を通して、成功体験（試験合格）をしたり、集中力upや算数を好きになってくれたらと思います。

また、常に「スマホ脳に打ち勝てる子どもたち」になってほしい、との願いで今後も支援していきたいと思っています。

※これまでこのコーナーでは、移住者を紹介してきましたが、今回より移住者に加え、町内で起業されている方、ボランティア活動に携わっている方も紹介していきます。

令和7年度 議長交際費

7月	平内町漁業協同組合土屋支所遊漁船部会総会終了後の懇親会、平内町議会議員御母堂様香典・供花代、青森みちのく銀行「ひらない時鐘会」納涼パーティー、議会活性化特別委員会視察研修時お土産代	47,900円
8月	平内町社会福祉協議会互礼会、藤沢多世代交流夏まつり、東津軽郡町村議会議長会情報交換会、平内町老連旗祀り時盛花	40,000円
9月	青森県民駅伝競走大会平内町選手団慰労会、平内町副町長御母堂様香典・供花代、ひらない夏まつり実行委員会後の懇親会など	59,000円

令和7年9月までの累計額は
244,223円です。

詳細についてはHPをご覧ください。



議会の傍聴

日程は変更されることもありますので、議会事務局（755）2119へお問い合わせ下さい

令和7年 第4回定例会の予定

あなたに 町の未来が 見えてきます	12/8（月）	開会・本会議・議案上程
	12/9（火）	本会議・一般質問
	12/10（水）	本会議・一般質問
	12/11（木）	各常任委員会
	12/12（金）	本会議・採決・閉会



ツバキちゃん

定例会の日程は
町LINE公式アカウントでも
配信します。
友だち登録をお願いします！



おらほの
サークル紹介シリーズ
—第32回—



平内町スポーツ協会野球部
野球部監督：工藤 貴久（くどう たかひさ）

設立はいつですか？

平内町体育協会野球部として発足し、かれこれ40年以上活動をしています。

現在の活動状況はどうですか？

通年活動しており、雪が降るまでの平日は17時以降の役場野球部の練習に混ぜてもらい、週末は大会がなければ日曜日の8時から練習を行っています。冬期間は町立体育館で、月曜日の18時から練習を行っています。

議会や議員への一言をお願いします。

機会があれば、ぜひ球場に応援に来ていただければ嬉しいです。

今後の抱負を教えてください。

各種大会に出場し、全国大会出場を目指しています。今年の県民大会では、町村の部で3位となりましたが、優勝を目指して引き続き頑張りたいと思います。

最後に一言お願いします。

平内町をスポーツで盛り上げるためにも、頑張っている結果を目指したいと思っています。近年は、試合に来れる部員も減少しておりますので、もう一度野球をやりたいという意欲のある方は、ぜひ練習から一緒にやりましょう！

編集後記

今号には8月5日開催された将来の町政を担う人材の「子ども議会」の質問のやりとりを載せております。

若い人達の鋭い感性を見習いたいと改めて思いました。

開催された9月議会は、通称「決算議会」と言われるものです。

今議会ではこれまで議決された

「条例・予算」が計画通り実施されたのか、その効果は、などと理事者・担当者に問いただす同僚議員達の真剣な姿が印象的でした。

地域の人口が減り、ホタテへい死が続く重苦しい空気が漂う中、希望の見える地域づくりに頑張っていきたいと思います。 太田 満則

議会広報編集特別委員会

委員長	太田	満則
副委員長	田中	光弘
委員	船橋	侑雅
委員	荒内	護
委員	内海	伸
委員	田中	茂勝



発行／青森県平内町議会
編集／議会広報編集特別委員会

〒039-3393 青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL：017-755-2119
ホームページ：https://www.town.hiranaï.aomori.jp/